

開発科目「グローバルライフ」について

本校では、グローバルイシューに対して「当事者性」をもって取り組んでいくこと、そのためには様々な現場を訪れ1次情報に触れることを重視している。しかし、すべての高校生がそのような多くの現場で学ぶことはできない。そのため、「グローバルライフ」では、すべての生徒がグローバルな課題と向き合い、世界の諸課題に対して当事者として関わっていける素養を身に付けるために（地球市民性の醸成）、高等学校必修科目である「家庭基礎」をベースに開発を行っている。本科目は1年次生の必修科目として2単位で開設している。

本科目を開発するに至った背景に、「国際問題」「グローバル化」といった事柄に対して、一部の特別な人が関わるものだと考え自分事としてとらえられない生徒、そして教員も少なからずいる現状があげられる。この課題を解決するために、「日常生活がすでに世界とつながっている。これからは、誰もが世界とのつながりを考えたうえで生活をする必要がある」という当事者意識を芽生えさせる必要があると考えた。これを学校教育のなかで実現するには、生活課題から問題意識を育む家庭科の果たせる役割は大きく、そして家庭科と他教科が協働することでその可能性をさらに広げられるという考えのもと、本科目をSGHから引き続き実施している。

本科目の学習目標は、学習指導要領「家庭基礎」の目標に地球市民性を育むため、1) 日常生活の中から世界とのつながりを意識させること、2) 地球規模で考え、地球に暮らす一人としての意識を持たせることの2点を追加した。さらに地歴公民科、外国語科、国際科、農業科、工業科など複数の教科の教員で授業案の作成や授業運営を行った。今年度は4名の教員で授業を担当し、4クラス同時並行のローテーションで授業展開を行っている。

・本科目の目標

上記のような科目開発の背景をふまえ、本科目の目標を次のように設定している。

「人の一生、生活に関する学びを地球規模で考え、地球に暮らす一人としての意識を持たせる。家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得していく中で、日常生活の中から世界とのつながりを意識し、自分の生活、家庭、地域の生活課題を主体的に解決するとともに生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる」

「日本と世界とのつながりを理解し、これからの自分の生活を創造するための3つの力を身につける」

- 1) 日常生活の先にある世界を想像できる力
- 2) 日常生活から世界の課題を発見できる力
- 3) 自分の考えを他者に伝え相互に共有できる力

これらの3つの力を身につけるため、教員による知識伝達以外にも「自ら調べ、課題を発見すること」「他者との意見共有」などの時間も重視している。

・学習内容

本来の「家庭基礎」における学習内容は多岐にわたる。そのため、家庭基礎で身につけさせたい概念などをふまえて、生徒が実感しやすく発展的に考えることのできる分野を絞り、開発していくこととした。最終的に、衣分野、食分野、社会との共生分野、生活とグローバル課題を考える分野の4分野で内容を構成した。本科目では、いかに“自分のこと”としてとらえられるかを大切に、身近なことから考え続けていくことを願い、題材を選定している。（年間学習計画参照）

R4 グローバルライフ 授業計画【月5, 6】

1学期								
月	日	曜	回	学校行事	A組	B組	C組	D組
					学習項目	学習項目	学習項目	学習項目
4	18	月	1		1)事前アンケート、ガイダンス			
	25	月	2		2)講演			
5	2	月	3		1-1)衣①	1-1)食①	3-1)共生①	1-1)生活とグローバル課題①
	9	月	4		1-2)衣②	1-2)食②	3-2)共生②	1-2)生活とグローバル課題②
	16	月	5	教育実習着任式(45分)	1-3)衣③	1-3)食③	3-3)共生③	1-3)生活とグローバル課題③
	23	月		体育祭代休				
	30	月	6		1-4)衣④	1-4)食④	3-4)共生④	1-4)生活とグローバル課題④
6	6	月	7		1-6)衣⑤	1-6)食⑤	3-6)共生⑤	1-6)生活とグローバル課題⑤
	13	月	8		～やさしい日本語で伝える～			
20-23期末考査					1ターム目考査の代わりに課題レポートメ切「6月27日(月)」			
2学期								
6月27日					勝浦信幸先生講演「地域社会における外国人との関わり」			
7	4	月	2		2-1)食①	3-1)共生①	2-1)生活とグローバル課題①	2-1)衣①
	5	月	3		2-2)食②	3-2)共生②	2-2)生活とグローバル課題②	2-2)衣②
9	12	月		黎明祭片付け				
	15	木	4	月曜授業	2-3)食③	3-3)共生③	2-3)生活とグローバル課題③	2-3)衣③
	19	月		敬老の日				
	26	月	5		2-4)食④	3-4)共生④	2-4)生活とグローバル課題④	2-4)衣④
3-6中間考査					2ターム目考査の代わりに課題レポートメ切「10月7日(金)」			
10	10	月		体育の日				
	11	火	1	月曜授業	2-5)食⑤	3-5)共生⑤	2-5)生活とグローバル課題⑤	2-5)衣⑤
	17	月	2		3-1)共生①	3-1)生活とグローバル課題①	4-1)衣①	3-1)食①
	24	月	3		3-2)共生②	3-2)生活とグローバル課題②	3-2)衣②	3-2)食②
	31	月	4		3-3)共生③	3-3)生活とグローバル課題③	3-3)衣③	3-3)食③
11	7	月	5		3-4)共生④	3-4)生活とグローバル課題④	3-4)衣④	3-4)食④
	14	月	6		3-5)共生⑤	3-5)生活とグローバル課題⑤	3-5)衣⑤	3-5)食⑤
	21	月		マラソン大会代休				
25-30期末考査					3ターム目考査の代わりに課題レポートメ切「11月25日(金)」			
3学期								
12月5日					ザ・トゥルー・コスト ファストファッション 真の代償			
12	12	月	2		4-1)生活とグローバル課題①	4-1)衣①	4-1)食①	3-1)共生①
	19	月	3		4-2)生活とグローバル課題②	3-2)衣②	4-2)食①	3-2)共生②
1	16	月	4		4-3)生活とグローバル課題③	3-3)衣③	4-3)食①	3-3)共生③
	23	月	5		4-4)生活とグローバル課題④	3-4)衣④	4-4)食①	3-4)共生④
	30	月	6		4-5)生活とグローバル課題⑤	3-5)衣⑤	4-5)食①	3-5)共生⑤
2	6	月	7		1) 1枚の写真と向き合い、自分の日常生活と世界とのつながりを考えてみよう			
	9	木	8	月曜授業	2) 1)をふまえて、ミニストーリー作成			
	13	月		研究大会代休				
20-24期末考査					4ターム目考査の代わりに課題レポートメ切「1月29日(金)」			
3	6	月	9		8) 1年間のまとめ・事後アンケート			

・グローバルライフの評価等

1) 文部科学省および環境省が中心となり推進している、ESD推進ネットワークについて、2022年2月に、ESD推進ネットワーク活動可視化タスクフォースにより、学校教育、社会教育拠点、ビジネスセクターの3領域の連携を重点とし、推進戦略を立ててESD(SDGs教育)の導入・実践支援を行うことの重要性が示された※1。本校においては、教育活動全体でビジネスセクター、生涯教育、啓発、社会教育セクターと共同し授業を実施しており、全国のモデルケースになりえると考えている。グローバルライフはその中核となる科目であり、SDGsの推進のためにも欠くことのできない科目である。

<※1 <https://esdcenter.jp/wp-content/uploads/2022/02/1b5d14b4516187df3d7113008a3f0895.pdf>>

2) グローバルライフは、生徒の地球市民性を向上させるために1年次で実施している。この科目によって生徒のSDGs認知度の向上、SDGsの達成に向けた行動力の向上が確認されている。また、1年次で学習することにより、2年次、3年次での探求学習にむけた生徒の学びの基盤になることも確認されている(校内の調査—卒業時点でのオンライン調査)。2022年から全国の高等学校で導入された総合的な探究の時間の推進にも資する科目である。

3) グローバルライフの授業を1年間受講した生徒へ記述式のアンケートを実施した。(次項参照)

どの授業が印象に残っていますか？ (理由とともに回答してください。)	授業をきっかけになにか行動で 変わったことはありますか？	授業をきっかけになにか意識で 変わったことはありますか？	グローバルライフの授業でどん な力がついたと思いますか？	グローバルライフの授業について の感想を自由に書いてください。
筑坂の農場を探索したのが一番印象に残っています。 画像や動画越しではなく自分の目でそれが何なのかを確認することが出来た身近にその物について考えることが出来たから印象に残っています。	朝からきちんと栄養のある食事を心がけて食べるようになった。	ファッションの現状を知って、エンカルフアッションについて考えるようになった。	日常生活の中でどんなことが問題なのかを前より見つけられるようになった。	生活の中でどんなことが問題なのか深く考える機会が出来て高くなるのが学べました。ありがとうございました。
一番印象に残っている授業は優しい日本語の授業です 日本に来ていた外国の=英語が得意という自分の中のバイアスを壊してくれるような内容に思うことができた。	日本語を第一言語としない方とのかわりかた	どうしたら相手にわかりやすく伝えられるか(日本語を第一言語にしない方へ)	課題を見つめ探究する力	今まで見向きもなかったような世界の課題に触れられとても好奇心をそそる内容でした
世界の食は持続可能かについての授業が印象に残っています。理由としては日本の食糧自給率について何故低いのかを知ることが出来た。食料と水のかかわりが密接になっていて、食肉の消費量が多くなったからです。	授業をきっかけに自分のいつもの生活は誰かの労苦でできているんだなということについて深く考えることが増えました。	自分の無駄だと思える多くの行動を減らしていくことや誰かのためになる活動をしていきたいという気持ちが強くなりました。	グローバルライフの授業では世界で活動が確認される団体やエコや自らの生活を助けている団体を助ける行動について自ら知らうとする力が増えたと思います。	グローバルライフの授業では自分が今まで気づけなかったことが多く知れることがあり、考え方の幅がとても広がりました。そして、自分の行動を見直したいという気持ちが出てくることも多く、自分の成長とても助けられた科目だと思います。
ファストファッションに関する授業と授業内に行ったディベートです。なぜかという、自分は普段ファストファッションを活用していてその服で困っている人がいることを考えていなかったの現状を知って驚いたからです。また、ディベートすることで自分からより理解を深めたり他者の意見を知ったりすることができ印象に残っています。グループでよく話し合っ準備をしたので印象に残っているのだと思います。	私は、食品ロスの観点で大きく行動が変化しました。親と一緒にスーパーに行くようになり、本当に食べる？買わずじやない？などお母さんに声をかけるようになり家庭での食品ロスがとても減りました。冷蔵庫の中でも期限の近いものを気にするようになり、家族の意識も変化しました。	自分の身近で起きていないことも社会で起きていることを意識するようになりました。自分の行動が社会にどのような影響を与えるのか、行動に責任をもてるようになりました。	社会で起きていることを自分の身近に当てはめて考える力と解決策を考える力をつけることが出来ました。授業の中で学んだことを家に帰る途中や家で身近に考えるようになりました。解決策を考えることは、グループでよく話し合うことが多くてどうしたら解決できるのか考えるようになり力が付きました。	グローバルライフの授業は最初何をするのかわかりませんでした。これからの社会で生きていくために知らなければいけないことを学ぶことができ、社会の中で生きているという自覚を良く持てるようになりました。なかなか自分一人では学ぶことができないようなことを知れてよかったです。他者と協働する機会も多く、他者と関わる力もつけられて大きく成長する機会になったと思います。
高校生が考える多文化共生 多文化共生について学んだうえで自分達には何ができるのか、実現可能な範囲で提案することが出来たため。 自分が考えることが出来ていなかった部分から考えていた班もあり、新しい面から多文化共生を考えることが出来たため。	今までは自分の身の回りでなく、遠い世界で起きている問題であると感じていたが、授業を通して自分達の周りにも起きている問題だと感じる事が出来た。 外国人労働者への募金活動を行うことが積極的になった。	世界の問題を今の高校生である自分達に何が出来るのか、社会問題を見ることが出来るようになった。	社会課題について、今の高校生に何が出来るのか身近なところから考えることが出来るようになった。	今まで考えることが出来ていなかった社会問題を世界と照らし合わせながら、学ぶことが出来た。今までは自分の周りには、どんな社会問題があるのかわかりませんでした。しかし、GLの授業を通してどんな社会問題があるのか、今の私達には何が出来るのか身近なところから考えることが出来た。それに加えて自分から行動もできるようになったので、この行動はこれからも続けていきたい。
バーム油について学習したことが、印象に残っています。自分の好きな食べ物が、製造者を苦しめているとは、少しも思っていなかったの、衝撃でした。	食品の選び方に変化が出ました。家族にも協力してもらって、出来るだけ地球への負担が少ないものを買ってもらうようにしています。 最近では、世界のニュースに興味を持ち、よく見るようになりました。	自分たちが豊かな暮らしをしている影で、それを支える人達が辛い思いをしているという事を知り、現状幸せなように見えても、それは自分の周りだけで、変える必要がある所は世界に溢れている、という認識が出来るようになりました。その元で、現状を良くしていくこと、を意識できるようになったと思います。	物事を良い側面と悪い側面の両方から見る事ができるようになったと思います。デメリットについてもきちんと見ること、本当に良いもの、を作れるようになると思います。また、この能力はT-GAPにも大いに生かせると思います。	自分たちがめくめく暮らしている間にも、世界では自分と180度違う生活をしている人々がいることを知り、自分の無知さを痛感しました。これからは自分から意欲的に世界について知る必要があると思いました。
写真から物語を考えて、グループごとに発表した授業が印象に残っています。理由は、一年間GLの授業で学んだことをもとに自分たちでストーリーを考え、わかりやすいように発表するという行なって、世界の現状を知ることになっただけでなく、SDGsの観点から考える日本に不足していることは何かを自分たちで行えるものから考えたので学びを深めるきっかけになったから。	家庭のごみを減らす努力をするようになったこと、車をあまり使わなくなったことが変わったことだと思います。家庭のごみを減らす努力というのは、一週間の中で一日だけティッシュを鼻がもか用途以外で使わないといった取り組みをしています。	必要以上のごみを出さないためにごみを減らす意識するようになりました。	じぶんから学ぶ力が付いたと思います。	一年間の授業を通して、じぶんから主体的に学ぶ授業だったので、発表する力も自分から学ぶ力もつきました。このことを日常生活の中でも生かせるようにこれからも意識して行動しようと思います。
「最後に一枚の写真と向き合い、自分の日常生活と世界とのつながりを考えてみよう」の授業 自分たちでストーリーを考え、2030年に作りたい社会をまとめることができたから。また、今の世界の現状も知ることができ、どのようにしていくべきなのかを改めて考えることができたから。	SDGsについて考えるようになり、ペットボトルなどのごみなどもしっかり分別しようとする気持ちになったり、自分以外の環境問題についての重大さをいろんな人にも知ってもらおうとするようになった。	物を大切にしようとする気持ちになった。	世界の環境問題や、社会問題となっていくことを更に深く掘って新たな問題を知ろうとする力が付いたと思う。	グローバルライフの授業は一週間二時間しかなく、あまり学べる回数も少なかったのですが、筑坂独自の授業スタイルで楽しく新たな課題を知りながら学ぶことができたので良かったです。
様々な植物をクラスで見て回った授業 入学して割とすぐにやった授業だったので、筑坂の校内敷地を見ていることが出来たことや、班員のみんなどの協力作業についてここで慣れることが出来たと思った。また、様々な国の特色や植物の持つ性質なども学ぶことが出来て良かった。	今まで子供関係や障がい者関係のボランティアに多く参加していたが、フードバンタリーなどの食糧、自然関係のボランティアにも参加するようになった。	普段からエコバックは持ち歩くようしていたが、それ以外の取り組みとしてマイ箸を持ち歩くようになった。	グローバルライフの授業を通じて、今までアバウトな認識だった世界の課題について深い理解をする事が出来るようになった。ボランティアといっても詳細に何をすれば世界の為になるのかわからなかったが、自分出来ることは何なのか考えられた。	いろんな分野について、その分野に精通した先生が担当してくださっていたのでそれぞれの内容がしっかりと理解できたと思う。特にプレゼンテーションでは他クラスも含めていろんな考えが聞けて、自分の中の学びとして深く、また今後の活動に活かせるようなものが多かったように思う。
食品ロス問題 理由 實際に調べて食品ロスの深刻さをしり、普段から食べ残しなどに気を遣うようになったから。	使わなくなった服を捨てるのではなくリサイクルボックスに入れることや、消費期限が近いものから買うことなど今までできていなかったことに視点を向けて行動できるようになった。	日々の生活の中で自分の行動が世界問題解決に向けての行動になっているという実感がわくようになった。	地球全体に視点を向けて多くの活動をしていけた。また、レポートを書く力やグループ活動での協力も上手にできるようになった。	世界問題を具体的に調べたりすることはなかった。今の世界を知ることができ、これからは自分どのような活動をしていきたいかも考えられるようになりました。これからは、この考えを行動につなげるようにしていきたいと思っています。
ファストファッションについて: 今まで自分が着ている服について安くて着心地が良いとしか意識して選んできてませんでした。だから、ファストファッションが原因の労働問題や環境問題が存在することを知った時は身近にある課題に目を向けられていなかったことなどに対してとてもショックが大きかったため一番印象に残っています。 私が最も印象に残っているのは、一枚の写真からストーリーを作ったグループごとに発表したことです。 理由としては、全員がばらばら写真を選んでいるところから何か一つつなげられるものを探して班ごとのストーリーを見るのが楽しかったからです。学生の発表では、ほんとはあるようなストーリーを作っている班もたくさんあってとても興味を持ちながら学ぶことが出来ました。	新しい服を買うときは即決だったので、今持っている服と合わせて着まわすように、また、本当に自分が必要かをよく考えてから買うようになりました。	環境問題などについてのニュースに関心を持つようになりました。	自分事として課題解決に取り組む力が身についたと思います。	グローバルライフを通して今まであまり関心を持っていなかった課題についても考えられるようになりました。これからは知らなかった問題についてより理解して課題解決に自分ができることに取り組みたいです。
私たちが最も印象に残っているのは、一枚の写真からストーリーを作ったグループごとに発表したことです。 理由としては、全員がばらばら写真を選んでいるところから何か一つつなげられるものを探して班ごとのストーリーを見るのが楽しかったからです。学生の発表では、ほんとはあるようなストーリーを作っている班もたくさんあってとても興味を持ちながら学ぶことが出来ました。	私は、食の分野での日本の食品ロスを学んで身近なことから食品ロスを減らしていこうと思うようになりました。食について学ぶ前は、自分一人が行動してもあまり意味がないのではないかと思っていました。授業を通して身近なことから取り組んでいくことが出来るようになりました。	SDGsとどのように結びつきがあるかを知って自分は何も知らないような状態で話してしまうと相手にも不快な思いをさせてしまうことがあると考えようになりました。また、考えをほかの人から聞いただけでも自分が間違っているということに気づくことが出来るようになりました。	ディベートなどで話し合いを深く行って、賛成反対のそれぞれの意見を予想することや外国から見た日本について考えることが出来るようになったと思います。自分一人の考えをただ話していくだけでは相手の意見も友好的に活用していく力が付いたと思います。	様々な分野を通してそれぞれ課題を発見することが出来たり、グループでの話し合いを通して自分成長することにつながったと思います。また、どの分野でも日本の現状についてグループで活動したことで自分自身の考えを深めることが出来ました。

<p>特に印象に残っているのは生活とグローバル課題の授業です。高校に入ってから学び始めた分野で、今までは当たり前のように何も考えず生活してしまっていたということを改めて強く実感させられたからです。私たちの生活が実際にどのような影響を及ぼすのか、及ぼしてしまっているのかについてグループでディスカッションを行い意見を出し合ったことがとても印象に残っています。</p>	<p>自分自身の行動がどのような影響を与えるのかについて、生活の中でも深く考えるようになり、授業内で考えた自分たちにもできることを実践しようという心掛けの行動をするようになりました。</p>	<p>授業を通して、高校生への私たちにでもできることがたくさんあると感じ、普段の生活の中で見つけた課題に対し、何ができるのかをより考えるようになり、自分自身の行動に責任を持たなければいけないという意識を持つようになりました。</p>	<p>見つけた課題に対し、自分自身にできることは何なのかを考える力、グループで協力・共働をして、活動を行う力がついたと感じます。</p>	<p>1年間のグローバルライフの授業を通して、4つの分野からどのような問題が起きているか、私たちの生活や行動がどんな影響を与えているのかについてたくさん知ることができたと感じます。今までは知らなかったり、考えることができていなかったことについても触れることができたので、2年生のT-GAPや3年生での卒業に活かしていけたらと思います。</p>
<p>衣分野が特に印象に残っています。なぜかという、自分が普段身につけているファストファッションの間の面を学んで、そこには解決しなければならない問題がたくさんあることを知り、大きな衝撃を受けたからです。それと同時に、自分はどうかかわっているのだろうかと思うことが出来たからです。</p>	<p>生活の中で、以前よりも色々な物に目を向けるようになったと思います。具体的には、食材を買ったときに、どこで育てられたものかを見たり、衣服を買ったときに、タグを見て素材や産地を見るようになりました。</p>	<p>筑坂に入学した当初よりも、地球市民であるという意識が強くなったと思います。</p>	<p>主に、3つの力が付いたと思います。1つ目は、問題を発見する力です。2つ目は、共働する力です。3つ目は、色々な視点で物事を見る力です。</p>	<p>一年間の授業を通して、4回のプレゼンテーションを行って、人に伝えることの難しさを改めて感じました。しかし、工夫の仕方など様々なことを学んだので、今後に生かしていけるようにしたいです。また、学んだことを忘れずに、社会課題を解決するために自分にできる最善の行動を継続していけるようにしたいです。</p>
<p>ファストファッションについての授業理由は、今自分が着ている服の裏側にはこんなに権性があることを実際の事件とともに知り、驚いたから。また、ディベートという初めてのことを通して、さらに深く学ぶことができたこと。</p>	<p>行動が変わったことはいないが、ファストファッションでないファッションはなにか、ということについて家族と話して、今後着物を活用した衣生活をしようと考えている。</p>	<p>ファストファッションについて、なかなか行動に移せていないが、安い服には訳があるということを理解しやすい服への意識が変わった。また、外国人実習生制度についても学び、問題意識へと変わった。</p>	<p>身近なことからみる社会課題を学び、身近にある課題を見つけ、プレゼンテーションやディベート、レポートからそれに対してどう動いていべきか、どうしていべきかを考えることができるようになったと思う。</p>	<p>グローバルライフの授業で4人の先生から様々なことを学ぶことができ、自分の知らなかったこともたくさん知ることができました。そして、それらは自分の生活の中で大きにかかわってくるものが多いので、今後生活するうえで役立つ部分や考えていかなければならないことを考えたり、知ることができ、たくさん学びがある充実した授業でした。また、ディベートやプレゼンテーション、レポートなど履修以外のことがたくさんあり楽しかったです。</p>
<p>最初にやったSDGsなどについての授業が一番印象に残っています。なぜなら、私は環境問題やSDGsに興味を持っていたのでその興味のあるものを買ったことで学んだことなどがたくさんあったのでとても心に残っています。</p>	<p>SDGsや環境問題を調べていく中で自分の周りでもたくさんの課題につながる可能性があるということが分かったので私は植物を植えて食べ残しを絶対にしないという行動に変わっていききました。</p>	<p>ファストファッションの課題や現状などを調べたり、学んだりしていく中で一つの洋服を作るのにたくさんの課題や時間などが使われているということが分かったことで今持っている服をきれいなまままで使おうと決めきれなくなったので捨てるという行動に変わりました。</p>	<p>ひとつひとつのものを大切にしていこうという力が付いたと感じるようになりました。なぜなら、たくさんの環境問題や課題を学んでいく中で自分たちの恵まれた環境などを痛感していったことにより力が付いたと感じました。</p>	<p>たくさんの新たな知識を学べてとてもうれしかったです。自分たちにはまだたくさんあるので自分自身で調べて課題を少しでも解決していきたいです。</p>
<p>共生分野でのプレゼンの準備作っているときに結局どういう活動になっていこう想像できるものになっていて、自分がそれ以外にできることはないのか考えさせられた。授業では、抽象的な内容の話し合いしか進めなくなっていました。</p>	<p>衣服の授業によって、自分の衣服について考え、自分の古い服はどうすればいいかリサイクルしたり、寄付することができた。</p>	<p>無意識にいろいろなもの考えるようになり以前よりも少し変わったが、行動には大きな変化はない。</p>	<p>身の回りに起きていることがグローバルなことにつながることを考えることができた。</p>	<p>半徑1メートルで考えられることをローカルからグローバルと視点、またグローバルからローカルの視点で考えることができた。自分個人で課題の内容についてきちんと考えることができたが、それについてもっと知識を増やす必要があると考えをきっかけとなった。</p>
<p>ファストファッションについての授業が一番印象に残っています。理由としては、映画などを通して、実際の現場の状況などを音声と映像で実感があったから。また、さまざまな意見が聞けたので、良い学びにつながった。</p>	<p>行動としては、今までやろうとしていたが出来ていなかったことを実際に行動に移せたきっかけになった。例えば、アップサイクリングだったり、自分の食についてや服(ファストファッション)やリサイクルなどものようにすれば、環境や人に良いのかを実践していた。</p>	<p>もともと、今回の授業でやったような内容に興味があり、実際に行動に移していたため、大きな変化はなかったと思う。しかし、友達との会話のきっかけともなり、自分の考えは深められたと感じる。</p>	<p>より考える力が付いた。なぜなら、自分の考えの中だけでなく友達や人との関わりや意見交換が多く行われたから。これは自分自身だけでなく、周りの意識も変わったからだと感じる。</p>	<p>特に、映像などから内容の濃い情報を学べたときは、友達と話し合い、実際にそのための行動を考案できるようにになった。その面では、とても興味深い授業だった。</p>
<p>ディベートや発表などの授業。実践的な授業は印象に残りやすく、理解も深まるような気がしたから。</p>	<p>衣服の授業で、ファストファッションの現状について学んだことをきっかけで、衣服の買い方を気にするようになったことや、ファストファッションについて興味を持ったことがきっかけで、自分の知識を周りにも伝えることをするようになった。</p>	<p>テレビや身の回りでGLで学んだ内容が含まれている場面が多く、その際に初めて知ったキーワードと、気になったことを調べるようになった。学んだことを自分の中で改めて解釈し、他のメディアからの情報と結びつけたりするようになった。</p>	<p>現代の社会に起きている問題を衣服、食など様々な観点から学ぶことができるようになり、幅広い視野や知識が身につくようになったと感じる。</p>	<p>期間で区切って様々なことを色々な観点から学べたことが多く、学習内容が現代の社会問題と結びつくことが多く知識が発揮できる場面が多いと感じた。そのため、身についたことを実感しやすかった。</p>
<p>私が印象に残っているのはファストファッションについての映画を見た授業です。自分が日頃から来てきたファストファッションが途上国の人々にあれほどの影響を与えてきたということは全く知らず驚きました。</p>	<p>私が授業をきっかけに変わったことはグローバル課題に関するニュースを見たときの捉え方です。授業を受ける前は、グローバル課題に関するニュースを見て「大変」の一言で終わらせてしまっていた。しかしグローバルライフの授業で各グローバル課題の背景についての深く知れたため、グローバル課題に関するニュースが流れてきたとき、自分なりに深く豊かに考えられるようになりました。</p>	<p>私はグローバル課題に関する意識が変わりました。5番の質問でも回答しており、グローバル課題に対しての意識が高まり、深く考えるようになりました。</p>	<p>私はグローバルライフの授業は答えはない問題について考える授業なのではないかと思っています。これまではグローバル課題と聞いても単一的な意見しか浮かびませんでした。今はそれぞれの問題について深く考えるようになりました。</p>	<p>グループで自分の意見を言う機会があったり、考える力の向上に繋がったり、定期的に発表、及びレポート課題もあって非常に充実している力のつづプログラムで良いのではないかと思います。</p>
<p>ディベートの授業がとても印象に残っています。理由はディベートの準備をするときにその意見に対する反論をあらかじめ予想することが必要でした。その予想をグループの人としっかり話し合うことができた。本番の時にしっかりと対応することができたからです。</p>	<p>落ちているごみを拾ったり、しっかりとごみを分別するようになりました。また食べ残しも無くすように自分の食べ残した分だけ用意するようにしました。</p>	<p>身の回りのことについてこれも問題なんじゃないかと思うようになりました。</p>	<p>問題について深く考える力が付いたと思います。</p>	<p>あのような授業を受けたことで自分が全く気にもしていなかった問題について考えるようになりまし。とてもいい機会になりました。ありがとうございました。</p>
<p>食品ロスの授業が印象に残っています。なぜかという、それぞれグループで食品ロスについて調べた内容を聞いて、とてもわかりやすく、食品ロスについて詳しくなることができたからです。</p>	<p>食品を買う時に、エコマークなどがついたものを買うようになりました。</p>	<p>食べ物を残さないように意識しました。また、必要最低限の物だけを買うように意識しています。</p>	<p>自分の行動を客観視する力が付いたと思います。なぜかという、自分のその行動を変えれば、地球の環境に少しでも、影響を与えることができると知ったからです。</p>	<p>自分の今までの行動が、どのように地球に変化を与えていたのか、知ることができたので、とても良いきっかけを作ったのだらありありがとうございます。</p>
<p>約六枚の写真を利用して紙芝居を作り、自分たちの目標としている未来を発表する授業この授業が印象に残った理由は、その授業をしてから、日がたっていないということもあるが、自分たちが紙芝居を作ることがとても印象深かったことにあると思う。</p>	<p>GL全体の授業を通して、今まで以上に、日常生活の様々な行動に対して、社会課題などと結びつけて考えるようになったと思う。</p>	<p>日々の生活で、ごみ捨てや、食事など、日常生活の様々な行動に関係しているときは、解決に取り組もうとする意識が強くなった。</p>	<p>プレゼン能力や課題に対して改善策を考える力</p>	<p>週に一日の授業だったが、印象に残るものも多く、友達とともに学ぶ機会も多かったため楽しかったと感じている。</p>
<p>衣分野のファストファッションに関するディベートこの授業では、どのような情報を持つべきか？や何を主張してどの意見を質問対応にまわすなどのディベートよりも何よりも「どれだけ現実を見られるか」が自分の中課題だった。ファストファッションの影の側面を見たうえで、それと光の部分と比較してできるだけ正当性を主張するにはどうしたらいいの？を最優先して自分たちの生活が壊れてしまふ。それは嫌だ(または困る)」ということに触れること必要で、SDGsなどの世界的な問題について学ぶ中でなくてもその問題が簡単に解決できないかとても実感した授業だった。</p>	<p>自分が何が出来るか、何をすべきでないかを前よりも考えて動くようになった。レポートでは「今の自分に何が出来るか？」というのが多く、答えられたのはどれも小さなことだったがそれがどんな意味を持つかを考えたりして買う服を選んだりプラスチックのリサイクルパッケージを買ったりすることにつながった。</p>	<p>自分が地球市民であることを~のくりにて筑坂に入って何度とも言われる内容をすく意識するようになった。社会問題としてあげられる国の状況には私たちの生活がかかわっていることをしっかりと意識できるようになった。</p>	<p>問題を自分事として考える力が身についたと思う。自分が今何が出来るかも含めて問題と向き合えるように少しだけなった。</p>	<p>グローバルライフはレポートの内容が毎回自分ごとく苦学内容で、考えなくていけないこともかかる時間もすく多かったが最終課題を何とか毎回出すことで自分が考えられる幅はとても広がったと感じました。</p>